



NEDOのスタートアップ支援 ご紹介

2025年10月16日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

スタートアップ支援部

目次

1. NEDOのスタートアップ支援の状況
2. NEDOスタートアップ支援の3つの軸
3. スタートアップ向け支援制度(補助金)
4. その他の支援
5. 今後の公募情報/イベントなど

スタートアップ向け
NEDO支援事業紹介
冊子



～日本最大級の公的研究開発マネジメント機関(経済産業省所管)～

Mission1 ✓ エネルギー・地球環境問題の解決

エネルギーシステム分野

- 系統対策技術
- 蓄電池等のエネルギー貯蔵技術
- 水素の製造から貯蔵・輸送利用に関する技術
- 再生可能エネルギー技術 等

省エネルギー・環境分野

- 革新的な省エネルギー技術
- 高効率石炭火力発電技術開発
- 二酸化炭素分離・回収・有効活用・貯留技術
- 国際実証、JCM 等

年間予算額(2025年度当初予算)

約 **1,464** 億円

Mission2 ✓ 産業技術力の強化

産業技術分野

- ロボット・AI技術
- IoT/電子・情報技術
- 材料・ナノテクノロジー
- バイオエコノミー 等

新産業創出・シーズ発掘等分野

- 研究開発型スタートアップの育成
- オープンイノベーションの促進 等

基金事業額(2025年度時点)

約 **10.4** 兆円

1. NEDOのスタートアップ支援の状況

支援予算（2025年度時点）

約**1,500**億円

支援＆フォローアップ中の件数

703件

（2025年9月時点）

対象技術分野

AI、ロボティクス、航空宇宙、素材、エレクトロニクス、バイオ、ライフサイエンス、エネルギー・環境などの**鉤工業技術**

（原子力を除く）

特に、“ディープテック” を対象

特定の自然科学分野での研究を通じて得られた**科学的な発見に基づく技術**で、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき**経済社会課題の解決**など**社会にインパクトを与える潜在力のある技術**。その事業化・社会実装には、**長期間と多額の資金を必要**とし、**既存のビジネスモデルを適応できない**といった特徴を有する。

2. NEDOのスタートアップ支援 3つの軸

01 事業を生み出す

技術シーズを活用したアイデアの事業化可能性の検証を支援。起業家候補や経営人材を発掘・育成。

-NEP開拓/躍進コース

-K-NIC
NEDO×川崎 起業家支援拠点

-大学発SUCxO人材確保支援

-SU支援人材育成講座

02 事業を育てる

長期的かつ大規模な資金を要するディープテック・スタートアップの研究開発、事業開発を支援。

-DTSU(STS/PCA/DMP)

-SBIR推進プログラム

-UPP事業開発

-国際共同研究コファンド

03 繋がりを支える

スタートアップ向け支援策の情報発信、海外エコシステムへの参入支援、事業会社との連携機会の提供。

ワンストップサービス
-Plus One

-StarTips/ NEDOデスク

-Immersion Program
Paris / Silicon Valley

事業会社との
-プライベートピッチ

3. スタートアップ向け支援制度(補助金/～1億円)

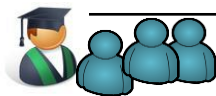
	NEDO Entrepreneurs Program <i>NEP</i>		コファンド 国際共同研究	Small/Startup Business Innovation Research <i>SBIR</i> フェーズ1	Small/Startup Business Innovation Research <i>SBIR</i> フェーズ2
	開拓コース	躍進コース			
補助額 /期間	300万円 迄 12ヶ月以内	3,000万円 以内 12ヶ月以内	1億円 以内 原則 2-3年	一気通貫型 2,000万円 以内 連結型 1,500万円 以内 原則 1年以内	一気通貫型 1億円 以内 連結型 5,000万円 以内 原則 2年以内
補助率	1/1	1/1	2/3以内	1/1	2/3以内
対象者	起業前の個人	起業後の法人	日本国内に登録される未上場の中小企業		
目安段階	プレシード		シード		
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 起業家研修 ■ アイデアの実現可能性調査 ■ 伴走支援者、カタライザによるサポート ■ 潜在顧客との面談アレンジ、外部人材の紹介など 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象国・事業者との共同研究を支援 ■ NEDOは対象国の公的支援機関と連携し、共同研究開発をサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 政府機関があらかじめ設定する課題の解決に資する技術についてPoC及びF/Sの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ フェーズ1の検証結果を踏まえた、実用化研究開発 ■ フェーズ2からの応募も可能
事業の 活用方法	<ul style="list-style-type: none"> □ 伴走支援者による毎月のメンタリング、宿研修などをとって起業の基本を習得 		<ul style="list-style-type: none"> □ カタライザによるビジネスモデル助言 □ VC等からの資金調達準備 	<ul style="list-style-type: none"> □ EUREKA Globalstarsを利用した対象国の事業者との共同研究開発 	<ul style="list-style-type: none"> □ 公共調達への可能性の拡大

3. スタートアップ向け支援制度(補助金/1億円～)

	Deep Tech Startups support program <i>DTSU</i>			Unicorn Promotion Program <i>UPP</i>	
	<i>STS</i> フェーズ	<i>PCA</i> フェーズ	<i>DMP</i> フェーズ	事業開発	
補助額 /期間	SG審査通過で最長6年、上限30億円			UPP	GX_UPP
	最大5億円 各フェーズ1.5-2年程度(同一フェーズ内で最長4年)	最大10億円	最大25億円	最大30億円以内 3年以内	最大50億円以内 4年以内
補助率	2/3以内		2/3or1/2以内	1/2or1/3以内	1/2以内
対象者	日本国内に登録される未上場の中小企業(みなし大企業のぞく、設立から一定以内要件等あり)				
目安段階	シード		アーリー	ミドル以降	
支援概要	<Seed-stage Technology-based Startups> ■ 要素技術の研究開発 ■ 試作品の開発 ■ 事業化可能性調査	<Product Commercialization Alliance> ■ 初期の生産技術開発 ■ 主要市場獲得に向けた可能性調査	<Demonstration development for Mass Production> ■ 商用化に向けた量産技術確立、実証 ■ サンプル出荷	■ 事前のRFIによって設定された領域での支援 ■ 商用の量産プラントの建設、他社との事業連携、量産技術の改良	
事業の活用方法	□ 億単位の助成で、シード期の短縮に繋がる	□ 将来的な量産を見据えた、製造方法の検討・試行を行う	□ 研究開発用パイロットプラント建設など、量産体制確立の準備を、補助金で行える	□ 一定の研究開発を終えたスタートアップが、メインストリーム市場で生き残るために、研究開発以外の部分でも事業の強化が可能に	

4. その他の支援 スタートアップ支援人材育成 SSA

対象者	イノベーションの担い手である研究開発型スタートアップの創出支援の現場をリードしていく支援人材、または支援キャリアを目指そうとする若手支援者候補など
対象者例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大学の産学連携・知財本部などのシーズの社会実装や事業化に従事もしくは関心のある関連教職員、URA、コーディネーター、TLO役職員、ポスドク等 ○ イノベーション・モノづくり支援等を担う自治体部局や公的産業支援機関の担当職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター ○ 民間企業にてオープンイノベーションや社内発のカーブアウト、スピンオフベンチャー創出、CVC活動など、スタートアップ支援に関する専門性・キャリアを高めたい関係部局の担当者 ○ VC等で、各地の研究機関や公的機関と連携し、シード段階から積極的に技術の目利きや掘り起こしを行い、研究開発型SU等の個社支援やハンズオン支援のスキル習得、専門性を志向するキャピタリスト ○ スタートアップ支援に関わる経験を通じて、将来的に起業や経営への参画を目指す方 ○ 上記に準ずる職能の者あるいはスタートアップ支援のキャリア形成を志す方 <p>※修了生例：https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100114.html</p>
目的	日本のスタートアップエコシステムの構築・発展を目的に、広い知見や専門性を持って客観的視点から先端の研究開発型スタートアップの発掘から成長までを伴走支援できる「支援人材」を産・学・官から広く募集し、育成します
プログラム	<p>【1】 研究開発型スタートアップ支援に必要な、基本的な知識やスキルを身に付ける講義の提供</p> <p>【2】 伴走型支援者としてのマインドを培う場の提供</p> <p>【3】 NEDO事業者の支援現場での実践的なアウトプット機会の提供等</p>
開講期間	第1回 2025年6月～10月 第2回 2025年11月～3月 今年度分の募集は終了、来年度も開講予定



定員：40名程度 **参加費**：無料（ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担）
選考：書面審査、面談により受講生を決定します。

4. その他の支援 ワンストップ相談サービス-Plus One

政府系の支援を受けたいけど、誰に相談したらいいかわからない

Plus One 問い合わせフォームに 入力

いろんな事業があって、どれを選んだらいいかわからない

- Plus事務局
NEDO
- ◆ メール・電話・オンライン面談等で相談
 - ◆ 最適な事業等を検討し紹介



Plus (Platform for unified support for startups)
参加22機関

シード期 技術シーズ創出・研究開発・人材育成支援	アーリー期 支援・ファンディング	エクспанション期 海外展開支援
金融支援・投資		知財支援

Plus参加22機関の支援メニューから最適なものをご紹介

Plus One 相談申し込み



5. 今後の公募情報/イベントなど



NEDOスタートアップ支援情報はここから

◆ NEP (各コース年1回)

- ・2025年度募集は終了、2026年度公募予定。(参考・今年度公募:開拓コース1月～、躍進コース3月～)
- ・2026年3月10日 ねぷらぼ ピッチ・成果報告会 開催 <https://nep.nedo.go.jp/>

◆ DTSU (年3回程度)

- ・第9回公募:2025年11 月下旬～12月上旬(予定)
- ・第10回公募:2026年4月上旬～4月中旬(予定) <https://www.nedo.go.jp/content/800027772.pdf>

◆ コファンド(年1回)

- ・2025年度公募:2025年10月14日～2026年1月21日(予定)
- ・現在、予告中。 https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100502.html
- ・今年度の対象国:カナダ、フランス、ルクセンブルク、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、オーストリア、大韓民国、リトアニア、シンガポール、イスラエル、南アフリカ、英国

◆ UPP(年2回程度)

- ・2025年10月下旬から2回目公募予定。
- ・事前のRFI実施により公募領域を公募回ごとに設定。 https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100499.html

◆ 大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業(今年度新規)

- ・スタートアップと、その製品・サービスの調達・購買を希望する大企業等を対象に、必要な研究開発費用を補助。
- ・現在、事前相談受付中。 https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100501.html
- ・2025年10月頃～2025年12月頃公募予定。

【注意】本情報は2025年10月1日現在の情報です。最新の事業・公募に関する情報は、NEDO ホームページを必ずご確認ください。